

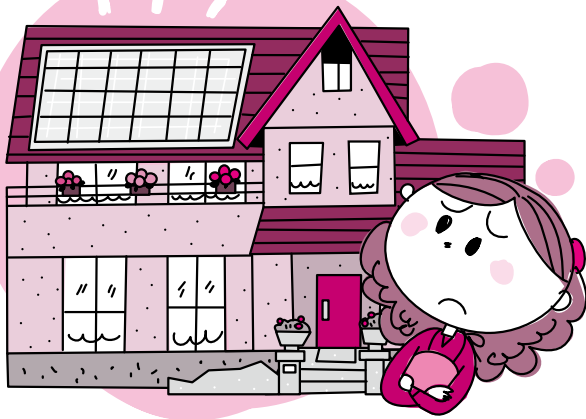
消費生活 相談

Q&A

ソーラーシステム設置で 補助金が出るってホント!?

Q 業者から太陽光発電装置(ソーラーシステム)を設置すれば必ず補助金がもらえると説明されましたが本当ですか。

A 住宅用太陽光発電装置の設置について国や自治体が補助制度を設けていますが、訪問販売によるトラブル例が増えているので注意が必要です。



「国の補助金を受けられると説明されて装置を設置したが、補助金の対象外だった」「発電した電気を電力会社に買い取ってもらえるのでそれで月々のローンも返せる、と説明されたのに、実際の収入はわずかでローンが返せる金額ではなかった」などです。

設置については次の点に注意してください(国民生活センターホームページより抜粋)。

- 補助金・発電量・売電量について契約前に自分で情報収集する
- 複数の見積もりを取り、納得できる業者と契約をする
- トラブルに遭ったら消費生活センターに相談する

住宅用太陽光発電装置は、地球温暖化対策として国が補助金を出して普及を進めています。市でも、条件を満たした設置には補助金の制度があり、国の補助金と併用することもできます。国の補助金制度については千葉県環境財団(☎043-246-3933)、市の補助金制度については市環境計画課(☎20-1533)へ問い合わせてください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。

男女 共同参画 の視点

女性の登用の現状 ～組織の努力と個人の努力を～

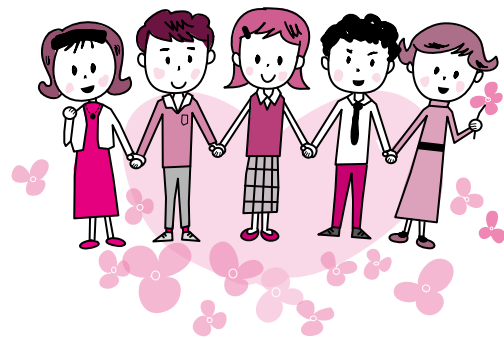
身近な地域活動・社会活動で、女性は重要な役割を担っています。子ども会の活動や登下校時の通学路の見回りもその一例です。

しかし、リーダーとして活躍している女性は多くありません。

教育分野において女性が大きな役割を担っているPTAでも、会長はほとんどが男性で、女性の数は市立小中学校・40校中3人というのが成田市現状です(平成21年4月現在)。自治会の会長も、287人のうち女性はわずか9人です(平成21年3月31日現在)。

生活に深くかかわる身近な分野においても、女性の参画が遅れているのが現状なのです。

さまざまな意思決定の場面に女性が参画することは、多様な発想を取り入れていく点で大変重要です。市でも、市の政



策や方針決定をする審議会などへの女性の登用を図っていますが、現状では、まだまだ低い数値にとどまっています。

女性の登用を促進するためには、組織の意識や取り組み姿勢、環境作りが大切であると同時に、女性が自らの力を発揮する機会を開拓し、自己表現能力を向上させ、思いを声に出すよう努力することが大切です。

※くわしくは企画政策課(☎20-1500)へ。